



第79回国民スポーツ大会福岡県選手団の活躍【9/13～15】

水泳競技(競泳)2種目で優勝！他12種目で入賞し、総合成績8位を獲得！！

9/13(土)～15(月)にインフロニア草津アクアティクスセンターにて、水泳競技(競泳)が行われた。選手のべ76名が合計46種目に出場し、2種目で優勝、12種目で入賞を果たした。競泳での優勝並びに入賞が、本会期に向けて勢いをつける活躍を見せた。

成年男子	順位	成年女子	順位	少年男子	順位	少年女子	順位
100m 自由形	4位	※100m 平泳ぎ	1位	100m 自由形(B)	8位	4×100m フリーリレー(A)	6位
※100m 背泳ぎ	1位	4×50m フリーリレー	5位	100m バタフライ(B)	6位	4×100m メドレーリレー(B)	8位
4×100m メドレーリレー	7位	4×100m メドレーリレー	4位	4×100m フリーリレー(B)	5位	4×100m メドレーリレー(A)	7位
※優勝した竹原秀一選手は、 2年連続の優勝		※優勝した鈴木聡美選手は、 2年連続の優勝 ★大会新記録 ★自己ベスト更新		4×200m フリーリレー(A)	8位		
				200m バタフライ(A)	7位		

なお、成年男子背泳ぎの竹原秀一選手と成年女子平泳ぎの鈴木聡美選手は、オリンピックとしての実力を発揮し、予選・決勝において出場した全てのレースを1位でゴールする泳ぎを見せ、福岡県選手団に勇気と勢いをつけてくれた。

● 竹原 秀一 選手からのメッセージ

「応援の力によってベストパフォーマンスが出せると思うから、競技と同じくらい応援も頑張らないといけないと思いました！」

● 鈴木 聡美 選手からのメッセージ

「自分自身がベストなパフォーマンスを発揮することでチームに良い影響を与えることができるから、信念を貫けるように自分を出してほしいと思います！」

水泳競技(飛込)、前向きに演技に取り組むも悔しい結果に。

9/15(月)に競泳同様インフロニア草津アクアティクスセンターにて行われた成年男子高飛込決勝。吉澤有馬選手は、10mを4本、7.5mを2本演技したが、6本全ての試技の間に竹川監督と笑顔で振り返りをするなど、常に前向きな姿勢で競技に取り組んだ。

結果は11位となり、「今大会に向けて練習に割ける時間が足りなかった」と、大会後は悔しさを滲ませた。

体操(競技)少年女子、万全の状態に挑めず決勝進出ならず。

9/13(土)に滋賀ダイハツアリーナにて行われた体操(競技)予選。競技開始直前に体調不良のトラブルにより、出場できない選手もいる中、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目に臨んだが、全体の21位となり、残念ながら決勝進出とはならなかった。

少年女子チームから県選手団に向けて、「今まで練習してきた自分のことを信じることで緊張も無くなるので、楽しんで競技に臨んでください」とメッセージが送られた。



【手前先頭が竹原選手】



【全力応援の TEAM 福岡】



【竹原選手と鈴木選手】



【10mから飛び込む吉澤選手】



【笑顔で終えた体操競技選手団】

9/15(月) 終了時点での本県の成績 **男女総合 20 位 女子総合 17 位**

9/21(日)から始まる自転車競技では、パリオリンピック出場選手や昨年の佐賀国スポ優勝選手など、有力選手が多数出場する予定！頑張れ、TEAM 福岡！！

